

# 福王寺だより

暑さ寒さも彼岸まで、この時期になるとようやくもう少しで春だなと思いい、気持ち明るくなるのは私だけでしょか。

もうすぐお彼岸となります、手を合わせ感謝の心を育み、春を迎えて明るく生きていきましょ。

## しょうみえく 正御影供とは

福王寺では、春のお彼岸のご供養と共に、「正御影供」のお参りが、執行されます。

「正御影供」とは、弘法大師様が入定された日であり、お大師様の御影、つまり描かれた掛け軸等を掲げて、お大師様に礼拝し、ご加護をお願いするお参りです。

旧暦承和二年三月二十一日、お大師様は御誓願を立てられ、高野山奥の院へ生き仏として入定されました。

その誓いとは、すべての人々を救済したい幸せへと導きたいそしていつも傍で見守っている（同行二人）であり、次のような言葉をのこされています。

「たとえ我が現相を見ずといえども我が形像を見る毎に真相の想を生じ我が経を聞く毎に、我が言音の思いに住せば、我定慧力を以て撰取して捨てず。」

つまり、「たとえ会えなくても、御影を見るごとに、お大師様の願いを感じる。お大師様の残された経文にふれていくことで、お大師様の考え、思いにたどり着くことが出来る。そして、必ずお大師様が、そのお力で救いなつてくださる」こういつています。

お大師様の思いや考えは本当に深く、納得できるものです。私たちは信じ、教えを實踐し生きていく中で、そのお力で幸せになる、悟りを開くことができるのです。

こうした、お姿を思い、感謝し、教えを自身に体得し、お大師様の願いである「幸せになること」を得ていくことが、「正御影供」であります。

お彼岸の先祖供養と共に、お大師様の教えの願いに心を向けましょ。



### 行事のご案内

#### 春彼岸会 正御影供

三月二十日 午前十時

於 津別町福王寺

三月十七日

午後一時三十分

於 北見別院

春のお彼岸、「正御影供」のお参りです。お大師様、先祖様への感謝を込め、皆様の幸せを祈りましょ。

北見別院では、右記の日程、「彼岸入り」にお参り致します。ご都合で津別のお寺に来られない方は、北見別院にてお参りください。

#### 四国八十八カ所巡拝

平成三十年春

執行予定!



## 維持費納入のお願い

毎年三月のお彼岸の案内とご一緒に、お寺の維持費のお願いをしております。

お寺の運営は、皆様の維持費、また会場の使用料によるところであります。

別紙の会計書の通り、皆様の維持費はお寺の運営の為に使わせて頂いております。納骨の管理費も含まれておりますので、ご理解を頂き、一万五千円以上、お納めいただきますようお願い申し上げます。

地方の方には振り込み用紙を同封させて頂いておりますので、協力頂けましたら幸いです。世話人さんがおりますところは、帳簿に会計書がついておりますので、ご確認ください。

## 寺院 活動報告

### 初大師 新年会 総代会

一月二十一日、お大師様の初めてのご縁日「初大師」のお参り、並びに檀信徒新年会を執行しました。

昨年は大雪で、初大師のお参りが出来ずに終わってしまいましたが、今年は無事執行でき、初めてのご縁日にお大師様に手を合わせる事ができました。新年会に際しては有志の方が前々日よりお集まり頂き、手作りでお弁当

を作ってくださいました。手間をかけたお弁当美味しかったです！ゲームも盛り上がり良い新年会となりました。



### 節分 星まつり ご祈祷

今年も、節分の星まつりのご供養、ご祈祷を執行しました。厄年はもちろん、諸々の願いを込め、お参りさせて頂きました。

檀信徒問わず、厄年問わず、季節の初めに手を合わせ、祈りましょう！

豆まきもしましたよ皆様にご加護がありますよ。



### 除雪

毎年冬になると、本堂の除雪のお手伝いに、数名の方が来て下さいます。

本堂に、ありがたい限りです。皆様がお参りしやすいよう、お寺は様々なお陰様によつてなりたつております。南無大師遍照金剛



### 維持費つてなに？

その名の通りお寺を維持していくための会費です。別紙の会計書の通り、運営させて頂いております。大きなものについては、火災保険や光熱費等、またお参りに使うもの等でしょうか。寺院の会場費もこちらに繰り入れております。

弘法大師のみ教えを守り、弘めるお寺、ご先祖様の幸せ、自らの幸せを願う場所、祈る場所として、皆様のお力によつてお寺は成り立つております。

皆さんの協力があつてのお寺が誰かの力となれるよう、また皆さんが気持ちよくお参りできるお寺であるよう、精進して参りたい所存ですので、ご理解ご協力お願い申し上げます。合掌